

OpenIntro 翻訳者補足 (No.1)

OpenIntro (4th Edition) には誤植と思われる箇所が数か所ありました。訳者が気が付いた箇所は著者に連絡する機会を利用して誤植であることを確認、翻訳では修正しました。また、訳者は医学・生物統計学には精通していないこともあり、適切とは言えない翻訳上の表現、計算プログラム R の利用上で生じるかもしれない問題、なども発見したので補足します。

1. 原著の誤植

Page 143 Exercise 4.7 (b): "days with lowest average high temperature" とありますが, "average" は不要.

Page 151 Example 4.30 : " (recall that a success is an individual" で右括弧が抜けている.

Page 221, line 15 from the bottom : "we do not reject the null."

Pages 282,284 :有意水準 (the significance level) を述べた方がよい.

Page 257 7.15 :Figure は差ではなく水準の数値と思われる.

2. 原著 p.9, line 8; 印刷翻訳版 p.10, line 7 : "Many doctors have hoped that there would be similar benefits for patients at risk of stroke." の"doctors"は(脳神経外科の) 医師、"stroke"は"脳梗塞 (の発作, 脳卒中)" と訳すべきでした。この節で引用しているデータについての詳しい説明は Web に掲示されている資料「データの説明」が引用している New York Times の記事, あるいは New England Journal of Medicine に掲載されている論文を参照してください。例えば急性心筋梗塞 (の発作) の場合にはカテーテル治療における stent の利用はごく一般的に広く使われている治療法として、少なくとも 20 年程度前から確立されているようです。(武蔵野赤十字病院, 循環器科の医師 (李哲民先生) からの情報です。) 「少なくとも 2010 年ごろに実際はかなり行われるようになった脳卒中に対するの stent 治療法の効果は、心筋梗塞の治療とは事情はかなり異なっていたことが、かなりの規模で行われた統計的実験により明らかとなった」と云うことが重要な背景のようです。New York Times の記事によると米国の FDA(Food and Drug Administration) は 2005 年ごろに人道的観点からの緊急の特例措置として「脳卒中にたいする stent 治療」を認めていたようです。なおここで利用している実験データは約 10 年前に米国で取られたものなので状況は変化している可能性などについては注意が必要です。

3. 原著 p.171, line 4, lines 20-23; 印刷翻訳版 p.176, line 11, lines 27-28 :

[訳注: ここでの数値例は R プログラムの初期値に依存しているので R を起動させても全く同一の数値が得られるとは限りません。ここで「sample」

は無作為抽出を行う R 関数で、この関数の結果は実行する度に異なります。実行結果を再現したい場合には、「set.seed」関数で乱数の種を明示して実行しておきます。その後、同じ種を指定して実行することで結果を再現できます。例えば、以下のように乱数の種を「12345」に指定すると、p-hat の値は常に 0.872 となります。> pop.size <- 250000000 > possible.entries <- c(rep("support", 0.88*pop.size), rep("not", 0.12*pop.size)) > set.seed(12345) > sampled_entries <- sample(possible_entries, size=1000) > sum(sampled_entries == "support")/1000 [1] 0.872 > set.seed(12345) > sampled_entries <- sample(possible_entries, size=1000) > sum(sampled_entries == "support")/1000 [1] 0.872 . R についての資料は Web ページに掲載予定ですが、例えば小暮厚之「R による統計データ分析」を参照してください。]

(2021.4.26)